

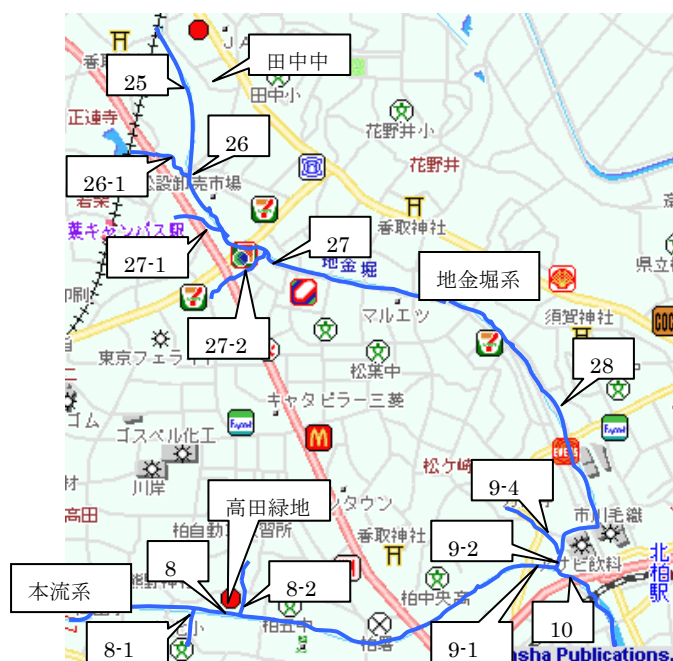
18年度第2回大堀川協働調査結果

18.12.12 大堀川の水辺をきれいにする会

1. 調査概要 今回は最後の調査(?)とあって総勢25名参加の盛大なイベントとなった。

1) 日時: 18年12月6日(水) 午前9時30分~11時30分

2) 調査地点と調査事項: 調査地点は下記の通り、調査項目は今回は各地点とも水質のみ



本流系

主流

No.

8 : 高田緑地

9-1: 地金堀合流前

9-2: 地金堀出口

10 : 本流・地金堀合流後

地金堀系

主流

No.

25: 田中中学校前

26: 花卉卸売市場入口

27: 松葉町6バス車庫傍

28: 松葉町1バス停コブタウン傍

支流

No.

8-1: 高田緑地西側樋管出口

8-2: 高田緑地東側支流出口

9-4: 地金堀出口直前の西側支流

支流

No.

26-1: 大室の成松興業傍支流

27-1: 若柴の東葛卸売センター傍支流

27-2: 松葉町7靴卸売センター傍支流

3) 参加者

本流系 : 柏市環境保全課の松山、高橋氏、アサヒ飲料の植松、園田、新村氏、パウダーテック社の関、村上、原山、富塚氏、大堀川の会の中野、奥村、山口、小川、今西、加藤、久保田、 合計16名

地金堀系 : アサヒ飲料の村上、小室、渡部氏、大堀川の会木村、志茂、河井、横井、湯原、青木、合計9名

2. 調査結果要約

本流系: 高田緑地前でCODが13と高く心配されたが地金堀との合流前では4に下がり、念のためその途中の6号線下で測定したところ6であったので、高田緑地前はその西側から入る支流(COD20)の影響を受けて高くなった時があったものと推定する。合流後も6と通常の値に落ち着いていた。

地金堀系: 上流はきれいだが何時もの通り花卉卸売市場前でCOD20レベルに悪化し、その後西から入る二つの支流も相変わらず汚く雨水で水量が増えてもCOD10レベルで松葉町を流れ出口では6に下がる、大体何時もの水質パターンであった。なお、何時も汚い花卉卸売市場前は今回は水量がその上流よりずっと少なく、ここは主流とは別の汚い水路から来る水だけが流れているのかもしれない、水路の解明が必要。

これまでの調査を通じて問題の支流ははっきりしており、早急な原因解明と対策を願いたい。

松葉町6丁目の地金堀水質調査中



調査終了後合流地点に全員集合



3. 調査データ (水質)

(今回本流系の流量は測定用具が用意出来ずデータなし)

本流系調査地点	主流				支流			本流
	No.8	No.9-1	No.9-2	No.10	No.8-1	No.8-2	No.9-4	番外
	高田緑地前	地金堀と合 流前	地金堀出口	地金堀と合 流後	高田緑地西 側樋管出口	高田緑地東 側支流出口	地金堀出口 直前の支流	16号線下
調査時刻	9:40	10:40	10:50	11:10	9:40	10:20	11:00	11:00
護岸の状況	自然護岸	自然護岸	三面張り	自然護岸	三面張り	三面張り	三面張り	
川底の状況	泥と石	泥と石	コンクリ	泥と石	コクリと泥	コクリと泥	コクリと泥	
周辺の植生	雑草繁茂	雑草繁茂	なし	雑草繁茂	雑草繁茂	雑草繁茂	なし	
気温 ℃	7.5	8	8	8	7.5	7.5	8	
水温 ℃	10.5	12	14	13	13	12	6?	
流量 m ³ /s	—	—	—	—				
色	なし	なし	薄黄色	なし	なし	なし	薄茶色	
臭い	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	
透視度 cm	30以上	30以上	30以上	30以上	30以上	30以上	30以上	
pH	6.6	6.8	7.0	6.6	6.8	6.6	6.6	
電気伝導率 μS/cm	165	330	730	410	390	330	360	
COD mg/L	13	4	6	6	20	20	6	6
アンモニア性窒素 mg/L	0.16	0.4	0.4	0.4	0.16	0.4	0.4	
硝酸性窒素 mg/L	2.3	2.3	4.6	2.3	4.6	10?	0.23	
亜硝酸性窒素 mg/L	0.015	0.06	0.03	0.03	0.15	0.06	0.006	
リン酸性リン mg/L	0.033	0.033	0.066	0.066	0.066	0.066	0.016	
地金堀系調査地点	No.25	No.26	No.27	No.28	No.26-1	No.27-1	No.27-2	
	単価中学校 前	花卉卸売市 場入口	松葉町6ハ ス車庫傍	松葉町1コ ブタソ傍	大室成松興 業傍支流	若柴東葛卸 売C傍支流	松葉7靴卸 売C傍支流	
調査時刻	9:40	10:05	10:30	11:10	10:10	10:40	10:35	
護岸の状況	自然護岸	三面張り	三面張り	三面張り	三面張り	三面張り	二面張り	
川底の状況	砂利	若干の藻類	藻類着生	藻類着生	コンクリ	コンクリ	ヘドロ状	
周辺の植生	枯草密生	なし	なし	なし	雑草あり	雑草あり	雑草繁茂	
気温 ℃	8.8	11	11	11	11	11	11	
水温 ℃	10	16.5	12	12	10	16.5	13	
流量 m ³ /s	0.03	0.002	0.13	0.20	—	—	—	
色	微黄色	微黄色	なし	なし	なし	微黄色	微黄色	
臭い	なし	微下水臭	なし	なし	なし	微下水臭	微下水臭	
透視度 cm	50以上	10	50以上	50以上	29	23	22	
pH	7.0	7.4	7.2	6.8	7.0	7.2	6.8	
電気伝導率 μS/cm	260	630	420	450	390	450	390	
COD mg/L	4	20	10	10	10	20	10	
アンモニア性窒素 mg/L	0.16	4	0.8	0.8	0.4	4	0.8	
硝酸性窒素 mg/L	0.23	4.6	2.3	4.6	2.3	2.3	4.6	
亜硝酸性窒素 mg/L	0.015	0.3	0.15	0.3	0.06	0.3	0.3	
リン酸性リン mg/L	0.016	0.66	0.33	0.165	0.066	0.66	0.33	

4. 参考資料

これまでの4年間のCODデータの集計

これまでの調査地点毎のCODデータを集計し実績値の範囲と異常値を除いた平均値を地図上に記載した。

凡例： (25) 3~13 *7 → (25)：調査地点No.、3~13：実績値の範囲、*7：異常値除いた平均値

